

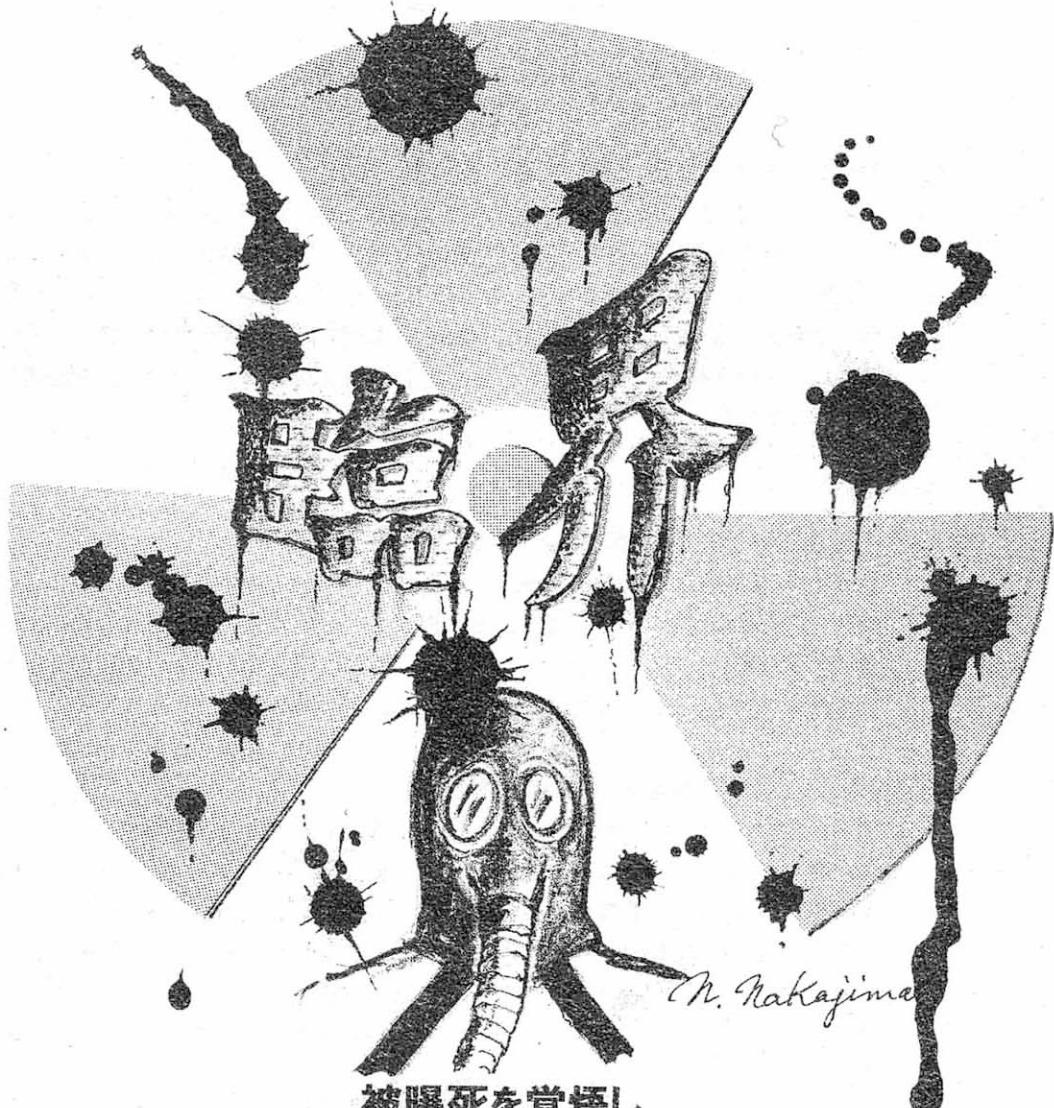
こがねい

2007年5月 第14号

放射能測定室だより

発行：小金井市放射能測定器運営連絡協議会

<事務局>小金井市緑町5-19-14-608 Tel/fax:042-385-6650(江藤)



被曝死を覚悟し
核の暴走を止めるのは
一体誰なのか

ぞくぞく発覚

原発事故隠し

えっ？！ 臨界事故も？！

こんなにたくさんの不正が発覚！

昨年末より次々と発電所におけるデータ改ざん、偽装、捏造、トラブル隠しが明らかにされました。全国の12電力会社が3月末迄に経済産業省原子力安全・保安院に提出した不適切事例は4518件。そのうち原発関連は100件近くありました。トラブルがあった際にすぐに詳細を公表し、情報が共有されていたら、その後の事故を防ぐことができたのではないかでしょうか。

緊急自動停止、制御棒脱落、そして臨界事故も！

北陸電力志賀原発1号炉において1999年に起きていた臨界事故も今回公表されました。定期検査中に89本ある制御棒の内の3本が誤って抜け、しかも緊急停止に失敗して、15分間臨界状態が続いたというものです。さらに古いものでは1978年に福島第一3号炉で定期検査中に制御棒5本が抜け、臨界状態が7時間半も継続した、という事故が発覚。その他にも10件以上の制御棒トラブルが今回明らかになりました。

2002年「東電原発事故隠し事件」の際にも隠し続けたの？

技術者の内部告発から原発の運転を一時止めるに至った2002年の「トラブル隠し事件」は記憶に新しいものです。その際にも、今回報告されたこれらの事故は隠され続けていたということでしょうか？事故に限らず、都合の悪い部分を隠し続けなければ原発は存在できないものなのかも知れません。

3月末に起きた能登半島地震の震度は想定以上

震源から約18kmしか離れていない志賀原発では、1号炉は臨界事故隠しによる停止命令を受けて止まっており、2号炉もタービン事故で止まっていましたが、激しい揺れの為、放射性物質を含んだ水が原子炉建屋内に飛び散ったそうです。自動停止設定値以上の揺れだった、ということで、評価対象から外れていた断層がもう一本を運動して動いた可能性が高い、との発表もなされました。地震の活動期に入ったと言われるこの日本では、今や原発震災はどこで起こっても不思議ではありません。

廃食油から、燃料をつくる

—全国に広がる菜の花プロジェクトの取り組み—

一面の菜の花畠は、人の心を癒し、収穫したら搾油してナタネ油に。そのナタネ油は家庭や学校給食で使い、絞りかすは肥料や飼料として使う。また、廃食油は回収して、せっけんやバイオディーゼル燃料（BDF）にしてリサイクル。二酸化炭素の排出も少ない地域での資源循環で、持続可能な地球環境を目指す取り組みは全国に広がり、100団体を超えてます。

「愛・地球博」の開会式では、未来プロジェクトとして取り上げられました。環境への負荷が少なく、資源を循環する取り組みを紹介します。

●あいとうエコプラザ 一菜の花館一

1998年、滋賀県東近江市にある愛東（あいとう）の地から、「菜の花プロジェクト」の取り組みが始まりました。

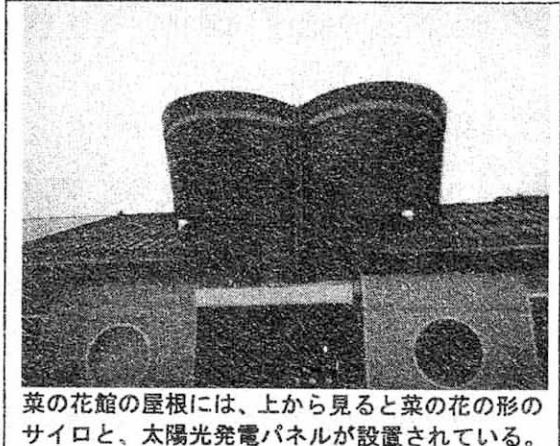
転作田に菜種を栽培し、油を搾って販売しています。そして、使った後の廃食油は、地区ごとに回収されて菜の花館に運ばれてきます。プラントの機械に入れられた廃食油はバイオディーゼル燃料になり、トラクターやコミュニティバスを走らせているそうです。

また、琵琶湖の浄化運動から、住民の活動で廃油の一部は粉石けんにもリサイクルされています。その販売容器は、資源回収された形も様々なペットボトルが使われています。

●西東京でも、菜の花の栽培を開始

2003年、西東京市でも「菜の花エコプロジェクト」が発足しました。まずは行動からと、菜の花栽培の試行を始め、そこからの人と人のつながりが地域をつくっているとのことです。05年、草の根市民基金の助成金で搾油機を購入し、環境学習にも使うなど、活動内容にも具体性を持ってきました。06年（昨年）は、農家2軒のトラクターをバイオディーゼル燃料で運行を開始しています。

現在、廃食油のBDF化を模索中。廃食油の処理の現状や使用先などについての調査活動を開始しています。廃食油回収のBDFを公共交通に利用するだけでなく、「作物による自然環境の基本である「農」を、菜の花を通して実体験をし、保全に努める」ことや、「各作業段階において、障害者やシニア世代の雇用の場の創出」にも、展望を持っています。（小山美香）



菜の花館の屋根には、上から見ると菜の花の形のサイロと、太陽光発電パネルが設置されている。

チェルノブイリ救援・中部の新しい活動

『菜の花プロジェクト』に注目！！



□ チェルノブイリ救援・中部とは？

名古屋市のNPO法人で、チェルノブイリ原発事故の被災者支援を16年にわたり、続けています。

医薬品や医療機器・汚染されていない粉ミルクの支援、現地の医師や医療技術者の養成、被災者の子ども達への奨学金制度など多岐にわたる支援を、深い交流を基盤に行なっています。

□ 『菜の花プロジェクト』とは？

チェルノブイリ原発の南西70kmのウクライナ北部のナロジチに、菜の花を栽培し、セシウム137やストロンチウム90を吸收させ、土壤を浄化し、非汚染地域を拡大しようとする試みです。さらに、なたね油からは安全なバイオディーゼル油を、根や茎からは、メタン醸酵させてバイオガスを取り出す考えです。

□ なぜ『なたね』はセシウム137やストロンチウム90を吸収するの？

セシウム137はカリウムと、ストロンチウム90はカルシウムと元素の性質が似ているので、なたねは栄養分と区別できずに吸収してしまうのです。

□ なぜ『なたね』なの？

セシウムもストロンチウムもバランスよく吸収するのはなたねの仲間。また、なたね油からディーゼル油を作ることが出来ます。

□ バイオエネルギーとは？

植物から作る燃料のこと。この4/27から首都圏50ヶ所のガソリンスタンドでも「バイオガソリン（バイオエタノールが3%混ざっている）」の販売が試験的に始まっています。

持続可能なエネルギーとして注目されていますが、食料（トウモロコシや大豆）から作ることにたいしては価格の高騰を招いたり、食糧難につながるとして疑問の声が上がっています。



□ ディーゼル油に放射能は残らないの？

吸収された放射能は根や茎・葉・種皮に蓄積されますが、種には蓄積されません。

なたねに吸収される段階で水溶性になっているため油と混ざらないからだそうです。

□ 放射能を蓄えた根や茎はどうするの？

メタン菌の働きで分解し、メタン醸酵させ、メタンガスを取り出します。これもまた、ディーゼルエンジンによる発電やボイラーの熱源に利用できます。

最後に残った汚泥はウクライナ政府の基準に従い「低レベル放射性廃棄物」として特定の場所に永久保存します。その後は半減期にしたがって放射能が減っていくのを待つしかありません。

□ 『菜の花プロジェクト』に期待！！

今年4月に種をまいて、成果を見ることができるのはまだまだこれからですが、現地の農業大学や行政とも連携し、着実に計画を進めているのは長年地道な救援活動を続けてきた「チェルノブイリ救援・中部」ならではの実績の表れだと思います。

バイオエネルギー生産と放射能除去・土壤浄化と一緒に考えているところが本当にすばらしいですね。

□ 原発事故から21年ですね

『私たちは事故から21年経った今だからこそ、ナロジチの人々に復興の息吹を感じてほしいのです。』（チェルノブイリ救援・中部）

□ もっと詳しく知りたい方は・・・

チェルノブイリ救援・中部

〒466-0822 名古屋市昭和区楽園町137 1-10

TEL 052-836-1073 (月・水・金 10:00-17:00)

chqchubu@muc.biglobe.ne.jp

www.chernobyl-chubu-jp.org



今年も咲きました！



六ヶ所村のチューリップ

六ヶ所村の核燃(全国の原発から運び込まれる核廃棄物を再処理する巨大施設)は、今年11月に本格稼動を始めます。

体を張って反対していた人達も、老い、疲れ、諦め、受け入れるしかなくなったこの村で、ほんの数人、反対運動を続けている人達がいます。その一人が菊川慶子さん。

ドキュメンタリー映画「六ヶ所村ラブソディー」をご覧になった方は、その中に出てくる彼女の飾らない穏やかな人柄や、気負わず自然体で反核燃の活動を続ける姿に心惹かれるものを感じられたのではないかでしょうか。

六ヶ所に根を下ろし、核燃に頼らない暮らしをするために、無農薬球根の栽培を行っており、毎年5月開催のチューリップ祭りは今年で14回を数えるとのこと。

荒涼とした核の大地に、春の訪れと共に出現する色とりどりのチューリップ畑は、各地から訪れる人々の心をなごませ、村人と交流の場としても定着しているようです。

私共の協議会でも毎年秋の小金井市民祭りや消費生活展で菊川さんの球根を販売しています。早いものでもう10年になります。

チューリップが咲くたびに、六ヶ所でねばり強くたくましく活動を続けている菊川さん達に思いを馳せ、日本が危険な原子力発電から1日も早く脱却し、核燃が不要のものとなるよう願わざにはいられません。

菊川さんお勧めの本

「聞き書き 小泉金吾 われ一粒の粉なれど」

東風舎出版 / 加藤 鉄 編著 <付録・村の記録のDVD>

六ヶ所村の語り部ともいいくべき小泉金吾さん(78歳)は核燃開発用地内で、ただ1軒、移転に応ぜず今も抵抗を続けています。一貫した姿勢・意志から熱く語り出される豊富な話と思想は、貴重な記録であるだけでなく、読む人に勇気と希望を与えてくれるでしょう。



【2006年度測定結果一覧表】

(2006年4月～2007年3月)

	測定品目	件数	原産国	測定結果(単位・ベクレル/kg)
乳製品	スキムミルク他	2	不明	検出されませんでした
小麦製品	お好み焼き粉	1	日本	"
	ホットケーキミックス	1	不明	"
	天ぷら粉	1	"	"
	クッキー、クッキーミック	2	フランス他	"
	スペゲッティ	1	イタリア	"
お茶	コーヒー	1	ブラジル	"
	紅茶	2	不明	"
	ウーロン茶	1	中国	"
	健康茶他	3	不明	"
海産物	焼きノリ	1	日本	"
	かつお節	1	"	"
	ワカメ	2	"	"
その他	カレールウ	2	不明	"
	ワイン	2	イタリア他	"
	干しブルーン	1	日本	"
	干しシイタケ	1	中国	"
	サラダ油	1	不明	"
	ヨモギ	1	日本	"
	チョコレート	1	不明	"

合計

28

☆以上その他、保育園、学校給食材29件を測定し、いずれからも放射能は検出されませんでした。

☆4月7日～6月22日、10月13日～1月18日 測定器不調、修繕のため測定を休止しました。

☆セシウムは Chernobyl 原発事故によって大量に放出された放射能です。
過去の核実験によって地表に蓄積もされています。分解されるのに時間がかかるので(半分の量になるのに約30年)いったん環境に出てしまうと長く残ります。

☆ヨウ化ナトリウム検出器で200cc6時間測定しています。

▶ 現制度依頼をお寄せください !!

申しあげ方法等は 一 です。よろしく

まあ、実際に渋り足にかかるみたいだ。

また協議会に参加したい方、いつでも募集して

いますのびご連絡ください。大歓迎です

はかってほい時は

